評価対	象事	務事業名	千客万	す来・アクティ	ブ商店街事	業		整理番号	13		枝番号
担当部	課名	区民生活部産業振興語	*		コード	051501	連絡先 電話番号	3073	昨年 整理:		136
	係名	商工係				上位施策名					No
予算事	業名	千客万来・アクティブ商	店街事	業 コード	15850	魅力ある商店	街づくり				45
	事業	開始年度 〇 昭和 (平成	13	年度	☑ 実施計	計画事業 □ 征	亍革計画事業	□協	動計	画事業
	5 7.14	の種類 □ 新規 ☑ 一部部	新規 🗌	臨時·単年度	内部管理	根拠法令等					
	対象	□個人□世帯	∮ ✓ [団体 Co	他	()	千客万来・アク	フティブ商店街	事業補	助金3	2付要綱
事	商店征	封組合、商店会				(2)					
務 事 業	活動に	内容(事務事業の内容、	やり方、₹	手順)		事業の目標	(対象をどのよ	うな状態にした	こいのか))	
業の概要	店街: 査会 うえて	街が提案する意欲的で」 活性化のための事業計 において審査し、承認す ご補助金を支出し、計画! の提出を義務付けている	画が、助 「る。 計i 事業が終	加成目的に適 画事業の詳細	合するか審 日を確認した	商店会が自然 いて実施する 行い、個性的 地域経済の	る新たな商店 りで魅力あるi	街振興事業I 商店街づくりた	こ対し、	必要	な助成を
		指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 通	適当な指標がない	場合の	代替指	標
	(1)	申請した事業件数				()	E希望した延/				
	(2)	申請を希望した延べ商	店会数			() (: :) =	事業実施商店	会の組織率		, ,	商店数) 目標値に対
		区分	単位	15年度 実績	16年度 実績	17年	実績	18年度 計画	目標 22年		日標値に対 する17年度 の達成率%
		活動指標(1)	件	7	2	7	1	7		6	16.7
指標		活動指標(2)	件	11	8	10	7	7		10	70.0
標		成果指標(1)	%	64	25	67	14	100		60	23.3
		成果指標(2)	%	100	100	100	100	100		100	100.0
		事業費	千円	44,045	27,602	50,460	294	56,960	特記事(指標、事	耳頁 業費等の	変化の理由など)
		(内)投資的経費等	千円								
		(内)委託費	千円								
	職員	員数 (常勤 非常勤)	人	1.88	1.39	1.20	2.27	2.20			
総事業費	人件	常勤職員分(超勤分含む)	千円	16,909	12,649	10,872	20,566	19,932			
業費	費	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総	事業費 + +	千円	60,954	40,251	61,332	20,860	76,892			
スト	単位は	あたりコスト(-)÷	円	8,707,714	20,125,500	8,761,714	20,860,000	10,984,571			
把握		受益者負担分	千円								
	財	国・都等からの支出金	千円								
	源	特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0			
		差引:一般財源 -	千円	60,954	40,251	61,332	20,860	76,892			
	受證	益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
					内 容	\$		規模	単位	事業	費(千円)
			千客万	来・アクティス	ブ商店街事業	審査会謝礼		1	回		160
	47/-	ウェンフィー	関連書	籍購入費				130	₩		94
	1/牛	度の主な取組み	郵送料	ļ		144	通		40		
			その)他 ()				0

部年度予報と制度または増殖している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 事業開始当初から 現在までの変化 長川、景気低を受け、事業開始後も、区内商業活動は引き続き酸しい状況であり、14年度までの3年間で商店扱・商店ではまでの変化 長川、景気低を受け、事業開始後も、区内商業活動は引き続き酸い状況であり、14年度までの3年間で商店扱・商店ではまでの変化 長川、景気低を受け、事業開始後も、区内商業活動は引き続き酸い状況であり、14年度までの3年間で商店扱・商店ではまでの変化 4月の11年度 6.343 14年度 5.670 区内商店従業者数(人) 平成11年度 6.343 14年度 1.293,945 14年度 1.218.865 事業に対する期待 要望・苦情など) 「事業1、100万円という事業規模は、大規模商店街で対れば計画化や実施が困難な規模であり、中、状況の変化により計画補助期間以降の事業の総続性が難しくなる場合がある。 チェーン店の遺出、商店会を会員の高齢化、後継者不足等、商業環境の変化により、商店会活動を担かる会員の高齢化、後継者不足等、商業環境の変化により、商店会活動を担かまり、地域住民やNPO等ともに本事業を活用し、商店台と地域とを活性化しようとする働きも高まりつつある。 11 施策への貢献度は大きいか 東京 は 中(理由) 「東京 活動量の増加(具体的内容) 「東京 活動量の増加(具体的内容) 「理由または具体的内容 : 補助金と投入し事業建模様できょうにする。また、千万未事業の補助金を投入し事業を継続するため、補助金と(20 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 「理由または具体的内容 : 補助金を投入し事業を継続するため、補助金に商店会の経費を投入し、補助金に依存することになるが、本の計画の特別の計画の手に会の経費を投入し、補助金に依存することになるが、表の [手段・方法の変更] (具体的内容) 「理由または具体的内容 : 補助金終了後も事業を継続するため、補助間中も積極的に商店会の経費を投入し、補助金に依存することになる (1) 協働等は実現しているか 「中、大田・東美 (2) で表しま、大田・大田・東美 (2) で表しま、大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大	17年度予算執行状況			1 13% 10 - 15%	1/-		ナックナ	<u> Л Н І</u>			
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額してい) ・	前に借の力だけでは限界があり、本事業の申請数、実施数とも減少している。本年度からは外面の発想も取り入れる「外部提案活用型事業」を実施し、取り組んでいる。書くの発表も取り入れる「外部提案活用型事業」を実施し、取り組んでいる。書くの発表も変したる。を発展も支援する。 事業に対する報行事業がある場合にはその概要も明記と 事業に対する報行事業がある場合にはその概要も明記と 事業に対する性民の意見(事業に対する報行事業がある場合にはその概要も明記とは実施した場合、の変化を表現しましている。との内面に改善を表しましている。 事業に対するは民の意見(事業に対する報行 事業に対する報行 現場には、日本の事態を表現している。 「日本業に対する報行事業のでは、1年度 5.670 区内面に改善者数人)平成11年度 (2.93,945 14年度 1.218,865 日本度に対する報行 要型・合情などの 大力では、20万億 14年度 1.728,965 日本度に対している。また、民内商業が制は、大規模の活動では対している。場所に対している。は実施に対する報行 要型・合情などの 大力では、1年度 5.670 区内面に改善者数人)平成11年度 (2.93,945 14年度 1.218,865 日本度に対している)。 「日本度に対している」は、計画が採出の変化により、商店会活動を担づく 大況の変化により計画補助期間以降の事業の継続性が難しくなる場合がある。 フェーン店の企业、商店会会員の高熱化、後継者不足等、商業業局の変化により、商店会活動を担づく 大況の変化により計画補助期間以降の事業の継続性が難しくなる場合がある。 フェーン店の企业、商店会会のの地域コミューディ活動への登録される。 「日本をの地域では、計画が採出の表の地域では、計画が採出の表の地域では、計画が採出の表の地域では、計画が採出の表ので、商店会がつしてまとまることになるが、補助金を了後、事業度・活動量の増加(具体的内容) 「理由または具体的内容: 国本を継続することが、補助金を投入し、事業を継続することが、		: 7 m + / - /	年度達成率%			度達成率	≊%	70.0	執行率%	
部の発想も取り入れる「外部提案活用型事業」の開始し、商店街の活性化に取り組んでいる。 (18年度予養的課表とは増働している。	部年度の改革家の別組み状況 (18年度予養的測素とは増加している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 事業開始当初から現在までの変化 事業に対する住民の意見、「表別、(2015年) (2015年)						の申請があり)、審査	会を実施、技	采択したが途中で圏	念したた
事業開始当初から現代主での変化 内商店数(外所) 平成11年度 6,343 14年度 5,670 区内商店後業者数(人) 平成11年度 40,724 14年度 37.722 年間販売額(百万円) 平成11年度 1,233,945 14年度 1,218,855 148 148,855 148,8	事業開始当初から 現在までの変化 内南區数 い所り 平成11年度 6,343 14年度 5,670 区内商店後業者数(人) 平成11年度 40,724 14年度 37,722 年間販売額 (自7月) 平成11年度 1,293,945 14年度 1,218,865 事業に対する期待・要望・苦情など) 「事業1,000万円という事業規模は、大規模商店街でなければ計画化や実施が困難な規模であり、中小商店会にとっても申請しやすい制度にしておい。また、計画が採択され、実際に事業を実施した場合、状況の変化により計画補助期間以降の事業の継続性が難しくなる場合がある。 デェーン店の進出、商店会会員の高齢化、後継者不足等、商業環境の変化により、商店会活動を担うべったが、地域住民やNPO等ととに本事業を活用し、商店估と地域とを活性化しようとする働きも高まりつつある。	(18年)	度予算を削減または増額してい	部の発想も取り入れた、既に補助を終了る発展も支援する。	る「外 _i した商	部提案	活用型事業 こ対し「継続]	」の開始 支援型	台し、商店街 事業」を実施	の活性化に取り組だし、取り組んでいる	んでいる。ま 事業の更な
■ 事業に対する賠令ののの	■ 事業に対する損害の	事業		店従業者数·年間販売額 区内商店数(か所) 平成 40,724 14年度 37,72	とも減り 11年度 2 年	>している 6,343 間販売客	3。 14年度 5,670 頁(百万円) 平原) 区内 成11年度	商店従業者数(1,293,945 14	人) 平成11年度 4年度 1,218,865	
(1) 施策への貢献度は大きいか	化 今後の予測	環 境 の	(事業に対する期待	商店会にとっても申請 状況の変化により計画	しやす i補助期	い制度 月間以降	にして欲しい。 锋の事業の継絡	また、言 続性が斢	十画が採択され ましくなる場合:	∩、実際に事業を実放 がある。	もした場合、
■	■		今後の予測	き人材不足が深刻化し	しており	、商店: 体事業を	会の地域コミュ E活用し、商店	1ニティ活動と地域	舌動への影響: 或とを活性化し	も懸念される。しかし、 しようとする働きも高ま	一方では、 りつつある。
#	# では、			·							
#	#					終了往	後、事業を継	続する			7 (1113-23 <u>ALL</u>
成果向上のための方策	###	車	,	上させることができる <i>た</i>)\	理由記	または具体的]内容:			
ありり方に 事業費・活動量の増加(具体的内容) ▼	ま業費・活動量の増加(具体的内容) 事業費・活動量の増加(具体的内容) 「(3)受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容) ある(具体的内容) 「(4)コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容) 「(1)協働等は実現しているか 十分に実現しているか 十分に実現しているか 十分に実現しているか 一分に実現しているか 一つで表述 は働等の今後のあり方: 「実施継続・● 推進 ○ 行政直轄 「協働等による成果と課題:各商店街が特徴のある商店街作りを推進した結果、マスコミなどで取り上げられる商店街もあり、多くの商店街の問題である「集客力」の点で一定の成果があった。一方、補助金 の問題である「集客力」の点で一定の成果があった。一方、補助金 をプリた。市店街・大部で実現が表して、事業を をプリた。市店街・大部で表す。また、千名 「万来事業の補助金を投入し、事業を がない事業であるため、補助機関終了後の維持運営が難しく、事業を をプリた。市店街・大部で開発である。	業	ある程度できる()		~						
(3) 受益者負担の見直し余地は 理由または具体的内容:補助金終了後も事業を継続するため、補助	(3)受益者負担の見直し余地は										
(3)受益者負担の見直し余地は 理由または具体的内容:補助金終了後も事業を継続するため、補助	(3)受益者負担の見直し余地は 理由または具体的内容:補助金終了後も事業を継続するため、補助期間中も積極的に商店会の経費を投入し、補助金に依存することのない事業運営を実施するよう指導する。 (4)コストを下げる余地はあるか 世由または具体的内容:補助期間終了後も事業を継続するため、当初の計画からコストなどを最小限にするよう指導し、また、そうした点を重視して対象計画の採択を図っていく。 (1)協働等は実現しているか 十分に実現している(へ) ▼ 協働等の今後のあり方: ○実施継続 ● 推進 ○ 行政直轄 (2)協働等の相手 企業・個人事業者(へ) ▼ 「協働等による成果と課題:各商店街が特徴のある商店街作りを推進した結果、マスコミなどで取り上げられる商店街もあり、多くの商店街の問題である「集客力」の点で一定の成果があった。一方、補助金交付事業であるため、補助機関終了後の維持運営が難しく、事業を終了した商店街もあり継続性という点が課題である		事業費・活動量の増加(具体	的内容)	▼	万来事 る。	業の補助金や区	ヹのアドハ	イザー派遣事業	業を利用し、専門家の知	識を取り入れ
ある(具体的内容)	ある(具体的内容)	点	(3)受益者負担の見直し余地は								
ある [手段・方法の変更] (具体的内容) ▼ 初の計画からコストなどを最小限にするよう指導し、また、そうした点を重視して対象計画の採択を図っていく。 (1)協働等は実現しているか	ある [手段・方法の変更] (具体的内容) ▼ 初の計画からコストなどを最小限にするよう指導し、また、そうした点を重視して対象計画の採択を図っていく。 (1)協働等は実現しているか 十分に実現している(へ) ▼ 協働等の今後のあり方: ○実施継続 ● 推進 ○ 行政直轄 (2)協働等の相手 企業・個人事業者(へ) ▼ 「協働等による成果と課題: 各商店街が特徴のある商店街作りを推進した結果、マスコミなどで取り上げられる商店街もあり、多くの商店街の問題である「集客力」の点で一定の成果があった。一方、補助金交付事業であるため、補助機関終了後の維持運営が難しく、事業を終了した商店街もあり継続性という点が課題である	12	ある(具体的内容)		▼						+9 2000
■ (1)協働等は実現しているか	ある [手段・方法の変更] (具体的内容) ▼ を重視して対象計画の採択を図っていく。 (1) 協働等は実現している(へ)		(4)コストを下げる余地はあるか	1							
★	★		ある [手段・方法の変更] (具	体的内容)	~						CJUICM
協 働 (2)協働等の相手	協働 (2)協働等の相手 協働等による成果と課題: 各商店街が特徴のある商店街作りを推進		(1)協働等は実現しているか		, ,	↓カ /≤↓	1年の会後のも	- 11			
働 (2)協働等の相手 協働等による成果と課題: 各商店街が特徴のある商店街作りを推進	働 (2)協働等の相手 企業・個人事業者(へ) (3)協働等の形態 「(3)協働等の形態 「(3)協働等の形態 「(3)協働等の形態 「(3)協働等の形態 「(3)協働等の形態 「(4)協働等による成果と課題: 各商店街が特徴のある商店街作りを推進した結果、マスコミなどで取り上げられる商店街もあり、多くの商店街の問題である「集客力」の点で一定の成果があった。一方、補助金交付事業であるため、補助機関終了後の維持運営が難しく、事業を終了した商店街もあり継続性という点が課題である	協			~	加加里。	きのう後のの	: בענים	○ 実施継	続 ② 推進 〇 彳	亍政直轄
検 (3)協働等の形態 交付事業であるため、補助機関終了後の維持運営が難しく、事業であるため、補助機関終了後の維持運営が難しく、事業で終了した商店街もあり継続性という点が課題である。	検 (3)協働等の形態 交付事業であるため、補助機関終了後の維持運営が難しく、事業を終了した商店街まあり継続性という点が課題である	働等			,						
終了した商店街もあり継続性という点が課題である	タフルた商店街主あり継続性という占が課題である	14				の問題	夏である「集署	客力」の	点で一定の	成果があった。一方	5、補助金
励測[補助・助成](具体的内容) ▼	励惻[湘圳] 则风] (具体的内容)	17尺	. ,	155)							∪∖、事業を

今 後	成果: 〇増	● 現状維持	○減	コスト: (○増	現状維持	○減
の事業のあり	(1)改革案の概要(いつま 外部提案型事業や継続 回復できるよう期待され	。 読支援型事業など、よ	り商店会が		美を開始した。年		申請数を少しでも
方	(2)改革案を実施するにあ	あたっての阻害要因と克	服方法				
(中長期)							
1	(1)19年度予算見積の方	向性 ○ 大幅増	○増	○増減なし	◉ 減	○大幅減	○ 予算なし
9年度方針	(2)理 由 本年度より「外部提案活引き続き支援していく。	5用型事業」と「継続す	∑援事業」を	新たに開始した。	平成19年度も	引き続き実施し、	商店街の活性化を

評価対	象事	務事業名	魅力を	び助成			整理番号	14		枝番号		
担当部	課名	区民生活部産業振興語	#			コード	051501	連絡先 電話番号	3076	昨年 整理		139
	係名	商工係					上位施策名					No
予算事	業名	商店街振興総合対策		=	コード	15850	魅力ある商店	街づくり				45
	事業原	開始年度 💿 昭和 (平成		63	年度	☑実施記	画事業	行革計画事業	☐ ti	a働計i	画事業
				臨時·単	_	内部管理	根拠法令等			VIV 1 &	- TE 450	
	対象	□個人□世帯		団体	_ その	他	. ,		店街づくり事 店街づくり事			六付亜綱
事	区内商	商店会など					· /		西田 フィッ争: せ!商店街事:			
務 事 業	活動層	内容(事務事業の内容、	やり方、き	手順)			()		ような状態にした			
業 の		住民が多様なニーズを済 会の活動に対し、指導・)場と	するための)場から、地域 商店街の魅力			
概要	间位	云の心動に対り、相等・	助ルで1	J 7º			上を図る。	のログ場とし、	向直接切迹/	1.年回の	ク、未	合力切凹
<u>s</u>												
		指標名(式)					成果指標名(適当な指標がない			標
	, ,	事業対象商店会数					()	ち会数に対す	「る事業対象で	商店会	の率	
	(2)					1077	(2)	 丰度	105-	目標	垂 /荷	目標値に対
		区分	単位	15年/ 実績		16年度 実績	計画	実績	18年度 計画	22年		する17年度の達成率%
		活動指標(1)	件		10	12	6	2	4		6	33.3
指標		活動指標(2)										
標		成果指標(1)	%		7	9	4	1	3		4	25.0
		成果指標(2)										
		事業費	千円	4	,604	6,586	5,650	2,263	44,920	特記事(指標、事	耳頁 業費等の	変化の理由など)
		(内)投資的経費等	千円									
		(内)委託費	千円									
	職員	数 (常勤 非常勤)	人	0.94		0.62	0.46	0.49	0.46			
総事業費	人件	常勤職員分(超勤分含む)	千円	8	3,454	5,642	4,168	4,439	4,168			
業費	費	非常勤職員分	千円		0	0	0	(0			
	総	事業費 + +	千円	13	,058	12,228	9,818	6,702	49,088			
スト	単位な	あたりコスト(-)÷	円	1,305	,800	1,019,000	1,636,333	3,351,000	12,272,000			
把握		受益者負担分	千円									
	財	国・都等からの支出金	千円									
	源	特定財源計 +	千円		0	0	0	(0			
		差引:一般財源 -	千円	13	,058	12,228	9,818	6,702	49,088			
	受記	益者負担比率 ÷	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
						内容	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~		規模	単位	事業	費(千円)
			高円寺	北中通	り商第	ぐ会 ホーム	ページ作成	1	式		163	
	47/	中の土も町担 っ	新高円寺通商店街振興組合 施設整備設計						1	式		2,100
	17年	度の主な取組み										
	その他 ()				0
						,				0		

		活動指標(1)の17 年度達成率%	33.3		票(2)の17年 配率%		17年度予算 執行率%	40.1
	₹予算執行状況 努力·未達理由等)	ホームページ事業写	尾施商店会	:数、及び事	事業費の減	等 。		
		18年度は施設整備	事業数及	び事業費の	増加により	予算増となっ	ている。	
(18年)	をの改革案の取り組み状況 度予算を削減または増額してい							
	、関連する新規事業がある場 はその概要も明記)							
	,	各商店会の魅力を高	三从 佳安	力を向上さ	サスため木	・車器を活用し	. アハス しかし E	三世月/レ . ナ_
事	事業開始当初から 現在までの変化	景気の低迷の影響が					7 (1 1 3 ° 0 11 . 0 ′ 1	を飛びしいた
事業環	<u></u> 事業に対する住民の意見	 商店街の施設整備	事業は商品	- - 街活性化	のみならず	、商店街利用		にも影響を
境 の	(事業に対する期待 ・要望・苦情など)	与えることから区民の	の期待・関	心が高い。				
变 化	A44 A Z 201	商店街会員の高齢で き、商店街には厳し				吉の進出など	商業環境の変化は	は今後も続
	今後の予測	で、何点は には取り	v 14人/近/J`;	元へて行んり	0110。			
	(1)施策への貢献度は大きいか						進事業助成につい 業であり、魅力ある	
	貢献度 大(理由)			の貢献は		2人扱りの手	来でのり、心力のも	の向はりつく
	(2) 現在の事業費で成果を向	上させることができるか	か 理!	由または具	体的内容:			
事業	できる(へ)		▼					
のあ	成果向上のための方策						2負担を伴う事業で	ぎあり、特に
IJ	その他(具体的内容)		▼ 施	殳整備事業	は事業費力	が多き事業で	ある。	
方点	(3)受益者負担の見直し余地は		理	由または具	体的内容:[区と都の補助	金交付事業	
検	ない(理由)		▼					
	(4)コストを下げる余地はあるか	١	理Ⅰ	由または具	体的内容:[区と都の補助	金交付事業	
	ない(理由)		▼					
	(1)協働等は実現しているか			- 151 hate - A 11				
協	一部実現している(へ)		▼ †∄	船働等の今後	後のあり方:	○ 実施継続	売 ● 推進 ○ 1	亍政直轄
働	(2)協働等の相手				成果と課題		業費の2/3を区が补	
働等点	企業・個人事業者(へ)						性進を促している。 が全商店会数の1	
検	(3)協働等の形態			いなど事業の いが要がる		十分なので、	商店会に積極的	こ働きかけ
	協働[補助・助成](具体的内	3容)	▼ (1	1、必安力。	ທ ວຸ			
今 後	成果∶○増●	現状維持	t J	スト :	○増	● 現状維	註持	
の	(1)改革案の概要(いつまでに、	どういうかたちに)	事業のあり	方点検欄を	踏まえて記入	(
事業の	アーケード及びアーチの老村 える。	5化による建替えや新	f規に商店 店	街のカラー	・舗装を希望	望する商店会	があり、必要な事業	美であると考
あ	/ C 🕹 0							
う方	(2)改革案を実施するにあたっっ	での阳字亜田と古明古						
	(上)レス十木と人がり ひにのにり		14					

○増減なし

○減

○大幅減

○ 予算なし

アーケード改修やカラー舗装を希望する商店会数の増。

○大幅増

●増

(1)19年度予算見積の方向性

(中長期

19年度方針

評価対	象事	務事業名	元気を	と出せ商店往	事業			整理番号	143	枝番号
担当部	課名	区民生活部産業振興調	果		コード	051501	連絡先 電話番号	3076	昨年度 整理番号	
	係名	商工係				上位施策名				No
予算事		商店街振興総合対策		コード		魅力ある商店	街づくり			45
			平成		年度		↑画事業 □ 征	行革計画事業	協働	計画事業
				臨時·単年度		根拠法令等		· * + + = + 4	· #	- 4 = 10
	対象	□個人□世帯	<u> </u>	団体 【】その	他	(/		せ商店街事業 せ!商店街事業		
事 務	区内商	商店会及び商店会で構成る	された連 [・]	合会		(3)	がいりしいといってい	그 : 미/미띠카 :	未見 川ツル	.又门女啊
事		内容(事務事業の内容、					•	うな状態にした		
業の概要	·補助 ·補助	会などが実施するイベント引 対象経費100万円以下の引 対象経費100万円超の事割 3以内(都1/3 区1/3) 限度	事業 都 業	₩2/3以内		イベント事業 魅力ある商品		街の集客力向]上を図り、	活性化し、
			. 4500-7-	113213						
		指標名(式)				成果指標名(5	<mark>式) (代) = ፴</mark> 会イベント開催	<mark>適当な指標がない</mark> ****	場合の代替	指標
	(1) (2)	補助対象イベント数				(1) 商店会				
	\ ,	区分	単位	15年度	16年度		丰度	18年度	目標値	目標値に対する17年度
				実績	実績	計画	実績	計画	22年度	の達成率%
		活動指標(1)	件	74	78	81	75	88	9	83.3
指揮		活動指標(2)	<u> </u>							
標		成果指標(1)	件	74	78	81	75	88	9	83.3
		成果指標(2)	<u> </u>						<u> </u>	
		事業費	千円	62,277	61,829	93,348	63,966	97,092	特記事項 (指標、事業費等	等の変化の理由など)
		(内)投資的経費等	千円							
		(内)委託費	千円							
	職員	員数 (常勤 非常勤)	人	0.53	1.00	0.73	0.76	0.73		
総事	人	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,767	9,100	6,614	6,886	6,614		
事業費	件費	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総	· ·事業費 + +	千円	67,044	70,929	99,962	70,852	103,706		
スト	単位ð	あたりコスト(-)÷	円	906,000	909,346	1,234,099	944,693	1,178,477		
把握		受益者負担分	千円							
	財	国・都等からの支出金	千円	37,965	36,500	54,824	37,635	53,965		
	源	特定財源計 +	千円	37,965	36,500	54,824	37,635	53,965		
		差引:一般財源 -	千円	29,079	34,429	45,138	33,217	49,741		
	受記	· 益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
					内容	容		規模	単位事	業費(千円)
			方南銀	Q座商店街振 り	 興組合 「方ī	南演歌まつり」		5,500	人	2,249
			西武井		 興組合 「井¾	 荻まつり」		1,000	人	1,060
	17年	度の主な取組み		「駅北口商和会		1),	2,300	人	1,112	
						600,000	人 人	3,000		
	W					と谷七夕まつり		000,000		
			₹0.	D他 ()	1	1 /	56,545

		1 1-70 : 0 1 72	17 -			II		
4 = 4 = 1 = 1		活動指標(1)の17 年度達成率%	92	/ h	指標(2)の17年 度達成率%		17年度予算 執行率%	
	₹予算執行状況 努力·未達理由等)	イベント事業の補助3 て区と都が厳格に審 金の交付申請後にイ	査を行	テうこと か ら、	予算額と確定	額に差額がと	Lるケースが≨	らい。また、補助
(18年月 る場合	の改革案の取り組み状況 度予算を削減または増額してい 、関連する新規事業がある場 はその概要も明記)	毎年イベントを実施す会については、同じなイベントの実施を記	为容0)イベントを約	売ける場合が <i>多</i>			
事業	事業開始当初から 現在までの変化	各商店会の魅力を 衰退傾向は否めない 14年 1,218,865件						かし、商店会の 39,945所 平6
環 境 の	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	補助金の対象経費を	増や	してほしい。	提出書類を簡	素化してほし	, l 1 _°	
变 化	今後の予測	イベント事業に対する 今後も商店会の本事					は昨年度よりも	増加している。
	(1)施策への貢献度は大きいか							とは確実であ
	貢献度 中(理由)		•	り、一時的に	こも商店会の活	哲性化になっ [・]	ている。	
	(2) 現在の事業費で成果を向	<mark>上させることができるか</mark>	١		具体的内容∶₫	費用の面では	「十分な補助で	であると考えられ
事	できる(へ)		~	る。				
業 の あ	成果向上のための方策							会であることか
IJ	その他(具体的内容)		~	ら、補助金/ 絡を密にす		これ、真用刈り	刈未か上かる	よう、商店会と選
方点	(3)受益者負担の見直し余地は	;		理由または	具体的内容∶[区と都の補助	金交付事業	
検	ない(理由)		~					
	<u> </u>	١		理由または	具体的内容∶[区と都の補助	金交付事業	
	ない(理由)		~					
	 (1)協働等は実現しているか							
協	一部実現している(へ)		_	協働等の名	今後のあり方:	○実施継ん	売 ● 推進	○行政直轄
働	(2)協働等の相手				る成果と課題)2/3(上限額3(
働等点	企業・個人事業者(へ)			め、活性化	に役立っている	る。 課題	イベント内容	の集客力を高がマンネリ気味
検	(3)協働等の形態			の商店会か 	見られるので、	内谷の見直	しを進めてい	く必要がある。
	協働[補助・助成](具体的内	3容)						
今後	成果∶○増●	現状維持 ○ 減		コスト:	○増	● 現状維	持	〕減
の	(1)改革案の概要(いつまでに、				を踏まえて記入			
	都の間接補助事業(新・元気続き各商店会で有効に補助							

事業のあり	都の間接補助事業(新·元気 続き各商店会で有効に補助。	を出せ!商店徒 金を活用できる。	ƒ事業)と連抜 よう、都と区と	隽しており、区単独 ^っ 商店会で情報交換	で事業変更・i !等を積極的I	改革していくことは こ行い連携を密に	t困難である。引き こしていく。
方	(2)改革案を実施するにあたって	の阻害要因と克	服方法				
(中長期)	(1)に同じ。						
1	(1)19年度予算見積の方向性	○大幅増	○増	● 増減なし	○減	○大幅減	○予算なし
9 在	(2)理 由						
年度方針	18年度の件数は17年度より ものと思われる。	若干増加してい	るが、過去数	女年の件数を見ると	ほぼ横ばいて	ごあり、19年度に	大きな変化はない

評価対	象事	務事業名	商店往	b装飾灯へσ	り助成			整理番号	147	枝番号
担当部	3課名	区民生活部産業振興調		<u></u>	コード	51501	連絡先電話番号	3075	昨年度 整理番号	144
	係名	商工係			1	上位施策名	THE M		<u> </u>	No
予算事	業名	商店街装飾灯助成		コード	16900	魅力ある商店	街づくり			45
	事業	開始年度 〇 昭和 (●平成	10	年度	実施計	┼画事業 □ 1	行革計画事業	協働計	画事業
		の種類 🗌 新規 🔲 一部業	新規 🔲	臨時·単年度	□内部管理	根拠法令等				
	対象	□個人□世帯	₩ ✓ 🗗	団体 20	他	.,	区民有灯の整			±2.04
事	装飾炸	灯、アーチ等を維持管理し	ている商	j店会	l	(2) 杉並区	区民有灯の整	備等に関する	る条例施行	規則
務事	活動「	内容(事務事業の内容、)		手順)		` '	(対象をどのよ	うな状態にした	こいのか)	
業の		の商店街に建設された製					担している装作			
概要	朴・ラ	美化費、修繕費)に対し、	ての負	用の一部助の		等の役割分)	こ必要な照度)を助成するこ	ことにより、活え		
女	_					街としての基	盤を強化する	5 。		
		指標名(式)				成果指標名(5	式) (代) = 证	適当な指標がな し	、場合の代替	指標
	()	電気料助成商店会数	* 71cF		l	(1) (代)電流	•			
	(2)	維持管理費助成商店会	泛 数	· - (- c -	: a fee pipe	(/	持管理費助成率) ÷ (対象となる 目標値	る商店会数) 目標値に対
		区分	単位	15年度 実績	16年度 実績	計画	実績	18年度 計画	22年度	する17年度の達成率%
		活動指標(1)	件	125	123	122	122	122	122	
指		活動指標(2)	件	126	118	122	119	122	122	97.5
標		成果指標(1)	%	100	100	100	100	100	100	100.0
		成果指標(2)	%	100	100	100	100	100	100	100.0
		事業費	千円	28,995	28,820	45,444	44,145	49,066	特記事項 (指標、事業費等	の変化の理由など)
		(内)投資的経費等	千円							
		(内)委託費	千円							
465	職員	数 (常勤 非常勤)	人	0.76	0.54	0.55	0.58	0.55		
総事業費	人件	常勤職員分(超勤分含む)	千円	6,835	4,914	4,983	5,255	4,983		
亲 費	費	非常勤職員分	千円	0	0			0		
- П	総	事業費 + +	千円	35,830	33,734	50,427	49,400	54,049		
ストロ	単位ま	あたりコスト(-)÷	円	286,640	274,260	413,336	404,918	443,025		
把 握		受益者負担分	千円							
	財源	国・都等からの支出金	千円							
	源	特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0		
		差引:一般財源 -	千円	35,830	33,734	50,427	49,400	54,049		
	受許	益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
					内容	容		規模	単位事業	業費(千円)
			電気料	∤助成				122	団体	30,474
維持管理費助成								119	団体	13,671
	17年度の主な取組み									
	7.0/14								 	0
			その	<mark>)他</mark> ()	, ,		0

		十八八十尺	1/-	<u> </u>	· P MF * II	 1人			
47/7	- 	活動指標(1)の17 年度達成率%	10	0.0	活動指標(2)の17年 度達成率%	97.5	17年度予算 執行率%	97.1	
	·予算執行状況 努力·未達理由等)								
(18年) る場合	の改革案の取り組み状況 度予算を削減または増額してい 、関連する新規事業がある場 その概要も明記)	装飾灯の電気料にれている道路延長によって助成率の格差	こ対し、	30火-		カ成対象数の	基本としていたが、	商店会に	
事業	事業開始当初から 現在までの変化		をも減り 11年度 百万円)	νしている 6,343 平成11	る。また、商店会数はわず 14年度 5,670 区内i 年度 1,293,945 14年原	かながら減少傾 商店従業者数(ノ 夏 1,218,865(商	向にある。 人) 平成11年度 40,72 業統計調査)	24 14年度	
業環境の恋	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ·要望·苦情など)	装飾灯のポールの3 また、商店街のアー	ケード	やアー	-チの照明に対して	も助成を増額	して欲しい。		
变 化	今後の予測	飾灯の建替えができ とが考えられる。		朽化が	•	多くなってお	り、保守経費が増え	たしていくこ	
	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)			は、商	商店街装飾灯の維 所店会の発展に寄与				
			▼	してし			1 to 2 A - a - x - x	<u> </u>	
事業	(2) 現在の事業費で成果を向できない(理由)	上させることかできるだ	きるか ■ 理由または具体的内容:毎年度、対象となる全ての商店会に対して 助成をしているため。						
のあ	成果向上のための方策			理由記	または具体的内容:				
り 方			▼						
点検	(3)受益者負担の見直し余地は				または具体的内容:[商店会が負担してい				
	ない(理由)		▼		担を求めることはで			.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
	(4)コストを下げる余地はあるか	\			または具体的内容は				
	ない(理由)		▼	里女い。	であり、適正に助成を	10 (11966	いらコントをトリる	赤地はな	
	(1)協働等は実現しているか			1 1-1					
協	一部実現している(へ)		▼	協側	等の今後のあり方:	○ 実施継続	続 ● 推進 ○ 行	页直轄	
働	(2)協働等の相手				等による成果と課題				
等 点:	企業・個人事業者(へ)			灯の作	、夜間も安心して歩 多繕費、美化費を助	成することに			
検	(3)協働等の形態			わい	の創出に貢献してい	る。			
	協働[補助・助成](具体的内	9容)							

今後	成果: ○ 均	曹 ● 尹	見状維持	○減	コスト:	○増	● 現状維持	○減
の	(1)改革案の概要	(いつまでに、と	ごういうかたちに	事業の	あり方点検欄を	踏まえて記入		
事業のあり	引き続き同様の	内容で、電気料	蚪·修繕費·美f	七費助成を	行う。			
方	(2)改革案を実施	するにあたって	の阻害要因と克	服方法				
(中長期)								
1	(1)19年度予算見	積の方向性	○大幅増	○増	● 増減な	:し ○減	○大幅減	○ 予算なし
9	(2)理 由							
9年度方針	引き続き同様の	内容で、電気料	抖·修繕費·美f	七費助成を	行う。			

÷亚/再分:	4年	75 事 兴 <i>勺</i>	立には	∸¬┘±≪左♪Tζŧ₽È	лон с1;		*	- お田来旦	1 / C		+===
		務事業名				251501	連絡先	整理番号	148		枝番号
担当司		区民生活部産業振興調	<u> </u>		7-1	051501	電話番号	3076	整理番		145
マ質す		商工係 商店街装飾灯助成		7 1	46000	上位施策名 魅力ある商店:	生ご /リ				No 45
丁异士			े स्ट्रा	コード	16900		<u> </u>	生共二声主张	Lt	*** *	45
			● 平成	<u> </u>		✓ 実施計 根拠法令等	「	行革計画事業	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	動計店	画事業
	対象	□個人□世帯					₹民有灯の繋	経備等に関する	る条例		
			ў <u>Г</u>	1件	16	. ,		産備等に関する		运行封	見則
事 務	商店名	会等 				(3)					
事		内容(事務事業の内容、1						うな状態にした			
業の		灯の代替として商店会か に係る建設費用の一部を			新設や建替!		な照度を維持 D賑わいを演!	もし、歩行者の 出する。)安全を	確保	するととも
概要	,,,,,	CONOCERSSON	- W11-70 -	· • •	ŀ	C 1-17H 23	/ RIN 12 V · C //	Д / С,			
_											
		指標名(式)				成果指標名(5	., , ,	<u> 適当な指標がない</u>		计替指	標
	()	装飾灯建設助成基数 ************************************	- へ #/	,	ŀ			する助成本数		"- ~ #	_
	(2)	装飾灯建設助成対象商	I占会数			()		る助成対象を			区 目標値に対
		区分	15年度 実績	16年度 実績	計画	‡度 実績	18年度 計画	目標(22年)		する17年度の達成率%	
		活動指標(1)	基	11	40		115	47		100	115.0
指		活動指標(2)	件	1	3	4	5	2		4	125.0
標		成果指標(1)	%	1	1	1	1	1		1	100.0
		成果指標(2)	%	1	2	3	3	1		3	100.0
		事業費	千円	1,733	4,971	50,250	24,206	1,872	特記事耳(指標、事業	頁 (費等の	変化の理由など)
		(内)投資的経費等	千円								
		(内)委託費	千円								
	職員	員数 (常勤 非常勤)	人	0.29	0.35	0.38	0.41	0.38			
総事業費	人件	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,608	3,185	3,443	3,715	3,443			
業費	費	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
. п	総	·事業費 + +	千円	4,341	8,156	53,693	27,921	5,315			
スト	単位な	あたりコスト(-)÷	円	394,636	203,900	536,930	242,791	113,085			
把握		受益者負担分	千円						1		
	財	国・都等からの支出金	千円								
	源	特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0			
		差引:一般財源 -	千円	4,341	8,156	53,693	27,921	5,315			
	受註	益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
					内容	容		規模	単位	事業	費(千円)
			富士見	且丘商店会		44	基		9,442		
			今川町	商栄会		33	基		5,642		
	17年	度の主な取組み	高井戸	駅前商店会		31	基		7,442		
			上井草	商店街振興網		3	基		924		
			その	<mark>)他</mark> ()				756

, .		活動指標(1)の17 年度達成率%	115.		(2)の17年 成率%	125.0	17年度予算 執行率%	48.2			
	₹予算執行状況 努力·未達理由等)	建設費の1/3が商店 修繕・メンテナンスだ 金の支出が抑えられ	がまめに	行なわれ、建て							
(18年) る場合	をの改革案の取り組み状況 度予算を削減または増額してい 、関連する新規事業がある場 はその概要も明記)	平成17年度から装では、装飾灯が設置いた。)									
事業	事業開始当初から 現在までの変化	事業開始当初から ³ 度あり、大きな変化		7年度まで、商店会から本事業に対する申請件数はほぼ毎年3件程 れない。							
環境の	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	老朽化のため安全	面等から	建替えなけれ	ばならない	\装飾灯がある	るので、本事業は』	必要。			
変化	今後の予測	建設後15年以上紹 業に対する申請が ¹		書替える必要のある装飾灯があるので、来年度以降も年に数件、本事れる。							
	(1)施策への貢献度は大きいか			理由:商店会への集客力の増だけでなく、利用者、通行人の安全に							
	貢献度 大(理由)		V	も寄与している。							
	(2) 現在の事業費で成果を向	上させることができる。	かま	理由または具体的内容:							
事業	できる(へ)		▼								
のあ	成果向上のための方策		Ī	理由または具体	本的内容∶	補助対象商店	会への申請働き	かけ			
IJ	対象の拡大(具体的内容)		▼								
方点	(3)受益者負担の見直し余地は		Ŧ	理由または具体的内容:都と区の補助金交付事業							
検	ない(理由)		_								
	(4)コストを下げる余地はあるか	١	Ŧ	理由または具体	*的内容·	都と区の補助	全交付事業				
	ない(理由)		—								
	(1)協働等は実現しているか		·								
	一部実現している(へ)			協働等の今後	のあり方:	○実施継続	売 ● 推進 ○ 彳	亍政直轄			
協 働	(2)協働等の相手		1	嘉働等による 局	は果と課題		いら装飾灯建設費				
等点	企業・個人事業者(へ)		J.	吉会に助成する	ることにより	、商店会の装	齢灯建替えの負	担を軽減し			
検	(3)協働等の形態			ている。			等に問題がある器 要がある。	き師灯かある			
	協働[補助・助成](具体的内	9容)	-								
今	成果∶ ●増 ○	現状維持	ŧ -	771.	○増	● 現状維	<u> </u>				
今後の	(1)改革案の概要(いつまでに、			コ <mark>スト:</mark> 5り方点検欄を路			13寸 ○ i帆				
事	平成17年度から商店会の負						替え年数に到達し	ている商店			
業	会は建替えを促していく。										

後									
の	(1)改革案の概要(いつまでに、どういうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入								
事業のあり	平成17年度から商店会の負担が従来より減少したことを商店会に積極的にPRし、装飾灯の建替え年数に到達している商店会は建替えを促していく。								
方	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法								
(中長期)	商店会の会員減などによる商店会の財政状況の悪化								
1	(1)19年度予算見積の方向性 ○ 大幅増 ○ 増 ● 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし								
9 年	(2)理 由								
9年度方針	本事業の利用希望商店数が来年度大幅に増える見込みなし。								

評価対	象事	務事業名	観光まつり補	<u></u>		+ 1.5 4-	整理番号	149	枝番号			
						051502	連絡先 電話番号	3075	昨年度 整理番号	147		
		産業·就労支援係				上位施策名				No		
予算事		産業·観光振興		コード		魅力ある商店行	街づくり			45		
			平成	47	年度	☑ 実施計画事業 □ 行革計画事業 □ 協働計画事業						
				臨時·単年度		根拠法令等						
	対象	□個人 □世帯				(1) 地方自治法第232条の2 (2) 杉並区観光事業補助金交付要綱						
事務		佐谷七夕まつり(主催:阿佐 京高円寺阿波おどり(主催:				(2) 杉並区観光事業補助金交付要綱 (3)						
事		内容(事務事業の内容、				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
業の	事業	経費の一部補助					要する経費の					
概要							図るとともに、[としてさらなる			表9 5王国		
女			_		!			<u></u>				
	活動技	指標名(式)				成果指標名(豆	式) (代)=道	適当な指標がない	ル場合の代替	指標		
	()	事務経費補助団体数			1	(1) 観客動員数 阿佐谷七夕まつり						
	(2)	助成事業関連商店街数	Į.		1	()	動員数 東京高			目標値に対		
		区分	単位	15年度 実績	16年度 実績	17年	丰度 実績	18年度 計画	目標値 22年度	日標値に対 する17年度 の達成率%		
		活動指標(1)	団体	2	2	2	2	2	2			
指		活動指標(2)	団体	4	4	4	4	4	4	100.0		
標		成果指標(1)	万人	55	60	70	60	70	70	85.7		
		成果指標(2)	万人	120	120	120	120	120	120	100.0		
		事業費	千円	3,987	3,500	3,500	3,500	4,500	特記事項 (指標、事業費等)	の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等 (内)委託費		千円		<u> </u>			<u>'</u>				
			千円		<u> </u>		<u> </u>	l!	1			
	職員	員数 (常勤 非常勤)	人	0.20	0.10	0.20	0.24	0.20				
総事業費	人件	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,799	910	1,812	2,174	1,812				
亲 費	費						0	0				
	総	·事業費 + +	千円	5,786	4,410	5,312	5,674	6,312	1			
スト	単位な	あたりコスト(-)÷	円	2,893,000	2,205,000	2,656,000	2,837,000	3,156,000				
把握		受益者負担分	千円									
	財	国・都等からの支出金	千円									
	源	特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0				
		差引:一般財源 -	千円	5,786	4,410	5,312	5,674	6,312	1			
	受記	益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
					内 容	容		規模	単位事業	業費(千円)		
阿佐谷七夕まつり補助								1	団体	1,500		
				高円寺阿波おる	 どり補助			1	団体	2,000		
	17年	度の主な取組み						i '				
												
)					
その他 (, '		0		

		173210十1文	17 -		PM XIII	<u> </u>						
47年南	· 文 答 劫 /二 / L / D	活動指標(1)の17 年度達成率%	100	.0	活動指標(2)の17年 度達成率%	100.0	17年度予算 執行率%	100.0				
	₹予算執行状況 努力·未達理由等)											
(18年) る場合	の改革案の取り組み状況 度予算を削減または増額してい 、関連する新規事業がある場 その概要も明記)	高円寺阿波おどりは今年50回目となる。また、昨年度より開催日程が日付固定から8月最終の土・日曜日に変更となった。18年度は50周年記念大会及び開催日が週末となるので、観客の増が予想される。それに伴う警備の強化も不可欠であるため、18年度予算は100万円の増となっている。										
事業環	事業開始当初から 現在までの変化	なった。 七夕まつり 寺阿波おどりは観光化	こついて	アスタートし、年を重ねるごとに盛大になり、都を代表するイベントのひとつとて、飾りつけは一時の華やかさに欠けるが、集客力は引き続き高い。 高円1るが、地元商店街の販売額の伸びには結びついていない。								
境 の	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ·要望·苦情など)			が付けのリサイクルを配慮すべきである。 について、ごみ、騒音、交通など、住民の苦情が多い。								
変化	今後の予測	全確保のため踊りコ	ースの	開催に伴う安全確保のため警備の強化が求められている。 今後、安 D変更も予定されている。								
	(1)施策への貢献度は大きいか				いずれのイベントも							
	貢献度 大(理由)			に発展し、観光・産業の発展に寄与している。特に七夕祭は商店街 も活性化している。								
	(2) 現在の事業費で成果を向	上させることができるた)\	理由または具体的内容:								
事業	ある程度できる()		▼									
のあ	成果向上のための方策	成果向上のための方策				理由または具体的内容∶主催者・関係機関との協議の中で観光事						
IJ	その他(具体的内容)		₩	業としての成果向上はある程度可能。								
方点検	(3)受益者負担の見直し余地は			理由または具体的内容∶いずれも観光への補助事業であるため受								
検	ない(理由) ▼				益者負担の概念になじまない。							
	(4)コストを下げる余地はあるか				型由または具体的内容:観光事業助成としては現状が適切だが、安							
	ない(理由)			全で環境に配慮したイベントを実現するためには、さらなる費用面で の検討が必要である。								
	(1)協働等は実現しているか				協働等の今後のあり方: ● 宇施継続 ○ 井進 ○ 行政直轄							
等点	十分に実現している(へ)			加削	页直轄							
	(2)協働等の相手			協働等による成果と課題:主催団体をはじめ、警察、消防などイベントに関わる他の団体との部分的な協働は実現してる。高円寺阿波まどりは、昨年主催団体の「東京高円寺阿波おどり振興協会」がNPO								
	NPO・ボランティア・市民活動	団体(へ)										
	(3)協働等の形態				法人化したこともあり、今後は特に保安・警備・環境面に関して総合 的に連携していけるよう、自主的な活動を一層促す必要がある。							
	協働[補助・助成](具体的内]容)			-1730 CV 117 0G 7(H TH J'6/HE	3.こ 旧版が近女/					

今後	成果:	○増	◉ 現状維持	j (減	コスト:	○増	● 現	秋維持	○減
の	(1)改革案の概要(いつまでに、どういうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入									
事業	主催者や関係機関との協議を進め、保安や環境配慮などの整備をすすめる。									
の										
あ り										
方	(2)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法									
中	イベントの規模に対し、主催者の組織体制が脆弱である。区としては主催者に最大限の自助努力を促し、区と主催団体の役割が出る明確にするととは、済むない言、指導を行う									
長期	割分担を明確にするとともに、適切な助言・指導を行う。									
Ü										
1	(1)19年度	予算見積の方	i向性 〇 ;	大幅増	○増	● 増洞	なし	○減	○大幅減	○ 予算なし
9 年 度	(2)理 由									
		区内商業振興の観点から補助としては現状が適当である。ただし、祭りを観光資源としてPRしていくためには今まで以上の								
安全の確保、地域住民への生活への配慮など、主催団体を始とするイベント実施体制の整備を針でいたの安全実施などについての経費補助について検討する。								傾を行う必要	かめる。そのため、1	
Δ,	.,,,,,,		. = = C · C · C · MCS	7,110,43,10	- 0 - 0 12	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				